

## 犬山市のモモ営農継続に向けた取組の支援

### 1 対象

犬山モモ生産者 46戸

### 2 背景

犬山のモモは、高齢化等により生産者数が減少しており、産地の更なる縮小が危ぶまれている。産地の維持を図るためには、新規参入者や定年帰農者など新たな担い手への継承を進めるための体制整備が必要である。そのため、令和3年度に犬山市、JA、生産者と犬山のモモの今後の方向性について検討し「担い手確保・育成体制整備方針」をとりまとめた。整備方針は「多様な担い手の確保・育成」「営農継続に向けた支援体制の充実」「流通販売対策」の3つの柱からなり、このうち担い手確保、流通対策については令和5年度までに、園地マップの作成・運用や出荷規格表の作成・合意などの取組を支援してきた。令和6年度からは営農継続に向けた支援体制の充実のため、新たな担い手となる後継者等を対象とする「担い手育成講座」を行うこととした。

### 3 活動の内容

担い手育成講座は、リーダー的農家、犬山市及びJAと協議し、後継者等が取り組んでいる新植園・若木園で必要となる栽培技術や、品種更新や病害虫対策といった講座生の自園で実習できる内容で実施することとなった。収穫終了後の秋を次年の果実生産の起点と位置づけ、産地内の若木園を借り受けて4回の講座（接ぎ木、病害虫対策、若木の整枝剪定、苗木定植）を開催した。

講座では技術や知識習得だけでなく、同じ立場の後継者等が情報交換・仲間づくりをする場とするよう促した。また、受講した後継者等が産地において新たな連絡・技術普及体制の中核的な存在となるよう、助言や意識付けを行った。

活動を通じ産地で栽培の主力となりつつある女性（配偶者、子の配偶者）から、技術習得に向けた講習の要望が出てきた。第三者への経営移譲に向いていない小規模園地の営農継続を支援するため、リーダー的農家及び犬山市と相談し、令和7年度よりJAとともに地区の後継者等を主な対象とした地区別講習会を2地区（内久保、朝日）で試行する予定である。また、小規模園地を担う後継者等の選定と支援方法について、今後犬山市及び産地と検討していくことを確認した。

### 4 活動の成果

後継者等を対象とした担い手育成講座を試行し、7年度からの本格的な実施に向けて実施方法や内容を明確できた。また、小規模経営者や農家女性に対する講習、あるいは他の講座との連携など今後の講座の定着に向けた方向性を確認した。



図 担い手育成講座の実施風景